

診療科研修コース申請書

研修コース名【編入コース (小児腎臓内科) 】

- ・ 募集されるコース毎に記入して下さい。
- ・ 貴施設の診療科研修全体のスケジュールを表示する表や模式図を添付して下さい。

1. 診療科 (専門領域)

小児腎臓内科

2. コースの概要

小児科基礎プログラムを終了した者を対象 (他施設において研修修了、または、本機構での小児科ベーシックプログラムを修了、あるいは小児科基礎プログラムを修了したと同等とみなされる者。)

3. 取得資格

国立病院機構による診療認定医 (Ⅱ)

学会認定の腎臓専門医の取得も可能

4. 長期目標

小児腎臓病学の専門的知識の習得

小児腎疾患の診断を的確に行い、腎不全進行予防のための治療・生活指導を計画、実行。

腎不全治療法を適切に選択し、腎不全患児の生活、社会復帰への手助けが行える。

5. 取得手技

腎内科一般の検査技術 (腎組織像、画像診断など)

腎生検

透析管理 (CAPD、血液透析)

6. 研修期間

3年間 (当院では2年間)

7. 募集人数

2名

9. 診療科の指導体制

診療科医師数 常勤 5 名、非常勤 名

診療科研修の指導にあたる医師 2 名

主として研修指導にあたる医師の氏名 松村 千恵子

// 診療科経験年数 27 年

10. コンセプト

専門領域とその関連領域の系統的な研修で、裾野の広い臨床医を育む。

施設内外との質の高い交流研修を実施し、広い視野で専門性に富む臨床医を育む。

医療の質を高める臨床研究を実施する。

臓器専門性に偏らない小児科医をめざし、小児科としてのトータルケアを重視する。

11. 一般目標

関連領域を含む幅広い知識で患児の病態の全体を把握する。

関連診療科と必要な協議をして、的確な治療計画を立案する。

医療安全、患児とその家族の人権の配慮、コワーカーと意思疎通、チームワークを大切にトータルケアを
実践する。

12. 関連領域の研修に関して

施設内での研修 可能 不可

施設外との交流研修 可能 不可

研修領域の決定

本人の意向を研修責任者が聴取し、本人との相談で決定

13. 共通領域研修について

- ・透析センターでの研修
- ・腎移植チーム カンファレンス
- ・臨床研究センター 腎組織カンファレンス